

MUSIC DIALOGUE YOUNG ARTISTS SERIES 2026

2026年7月、若手演奏家の成長を応援するための新シリーズがスタートします



©Taira Tairadate

■公開リハーサル

完売

2026.6.28 (日) 〈出入り自由〉

12:00 ~ フランク 15:00 ~ ブラームス

旧園田高弘邸 (自由が丘駅下車徒歩)

一般 2,500 円 学生 1,000 円

■本公演

2026.7.1 (水) **19:00** 開演 (18:30 開場)

中目黒 GT プラザホール (中目黒駅下車すぐ)

一般 3,500 円 学生 1,500 円

レクチャー、お客様とのダイアログあり

公開リハーサルでは、若手とベテランが共演し、曲を作り上げていく過程をじっくりご覧いただけます。*字幕解説はございません。
本公演では、小室敬幸氏 (作曲・音楽ライター) による、解説、デモンストレーションも交えて、進行してまいります。
後半のダイアログでは、言葉での対話もお楽しみください。

■曲目

※プログラムや出演者は都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ブラームス 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 作品 111

田中 里奈 (ヴァイオリン) / 伊東 咲耶 (ヴァイオリン) / 山之内 真梨 (ヴィオラ)

大山 平一郎 (ヴィオラ) / 蕨野 真美 (チェロ)

フランク ピアノ五重奏曲 ヘ短調

羽室 芽衣 (ピアノ) / 石上 真由子 (ヴァイオリン) / 荻原 緋奈乃 (ヴァイオリン)

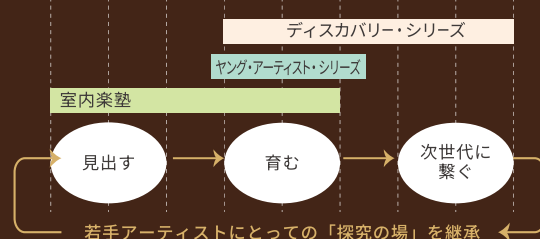
大山 平一郎 (ヴィオラ) / 井上 帆乃香 (チェロ)



ヤング・アーティスト・シリーズとは

Music Dialogue室内楽塾に参加し、研鑽を積み若手演奏家を対象に、次なるステップとしての学びと演奏の機会を提供することで、プロの演奏家を目指す一歩を応援する企画です。選ばれたメンバーが、室内楽塾と同様、芸術監督大山平一郎やMusic Dialogueアーティストと共演しながら、理解・演奏を深め、その成果を本公演で披露します。

Music Dialogueでは、若手演奏家が自ら応募して室内楽を学びに来る「室内楽塾」、そこから選ばれた人が参加する「ヤング・アーティスト・シリーズ」、そして、MDアーティストを中心に、より探求を深める「ディスカバリー・シリーズ」の3段階のシリーズを展開しています。



羽室 芽衣 (ピアノ)

ヤマハマスタークラス、ピアノ演奏研究コースに4年間在籍。東京音楽大学ピアノ演奏家コースを経て、同大学修士課程伴奏科修了。第35回愛知ピアノコンクール大学・一般部門金賞。第3回杉並公会堂ベヒシュタイン室内楽・ピアノコンクール室内楽部門第2位。これまでに、本田聖嗣、佐藤俊、松尾奈々、山洞智の各氏に師事。



石上 真由子 (ヴァイオリン・MDアーティスト)

日本音楽コンクール等、内外で受賞多数。国内外でオーケストラとの共演も重ね、題名のない音楽会やNHKクラシック音楽館等メディア出演も多数。アンサンブル九条山メンバー、EnsembleAmoibe主宰。京都市芸術新人賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、京都府文化賞受賞。日本コロムビア、キングレコードよりCD発売中。



伊東 咲耶 (ヴァイオリン)

3歳より窪田寿子氏のもとでヴァイオリンを始める。現在、窪田寿子氏、窪田茂夫氏に師事。第6,12,14回国際ジュニアコンクール第1位。第40回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会高校1年の部1位。第76回全日本学生音楽コンクール高校生の部全国大会1位。現在早稲田大学創造理工学部経営システム工学科四年在学中。



荻原 緋奈乃 (ヴァイオリン)

東京藝術大学に宗次徳二特待奨学生として1年次在学。第94回日本音楽コンクール第3位。クレモナ国際ヴァイオリンコンクール2024ファイナリスト。第23回日本演奏家コンクール第1位。IMA奨励賞、霧島国際音楽祭受賞。宗次エンジェル基金/日本演奏連盟新進演奏家'25'26奨学生。水野佐知香、竹澤恭子、玉井菜採、白井圭の各氏に師事。



田中 里奈 (ヴァイオリン)

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース2年在学中。第7回横浜国際音楽コンクール第1位など受賞歴多数。第46回霧島国際音楽祭賞、音楽監督賞を受賞。2020.21年度宗次エンジェル基金日本演奏連盟奨学生。2022.23年度青山音楽財団奨学生。2025年Music Dialogueヤング・アーティスト・パフォーマンス出演。ヴァイオリンを竹澤恭子、徳永二男、ヴィオラを佐々木亮、室内楽を山崎伸子、練木繁夫、磯村和英、水谷晃の各氏に師事。



山之内 真梨 (ヴィオラ)

京都市立芸術大学音楽学部を卒業。在学中はヴァイオリンを専攻し、同大学主催卒業演奏会に出演。卒業後にヴィオラへ転向し、プロジェクトQ、Music Dialogue 室内楽塾in京都、おこなす八女音楽塾に参加。「新進演奏家育成プロジェクト」にて、日本センチュリー交響楽団と共演。現在、日本センチュリー交響楽団契約団員。



井上 帆乃香 (チェロ)

第75回全日本学生音楽コンクール第1位。第29回日本クラシック音楽コンクール第2位。文化庁・日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト」にて日本センチュリー交響楽団と共演。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を首席で卒業。現在、東京藝術大学大学院修士課程に在学中。向山佳絵子氏に師事。



藤野 真美 (チェロ)

5歳よりチェロをはじめ。第74回全日本学生音楽コンクール東京大会大学の部第3位。サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェロー。ヴィオラスペース、プロジェクトQ、東京・春・音楽祭などに出演。チェロを常光聡氏、毛利伯郎氏に師事。桐朋学園大学大学院修士課程に在籍。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」大宮教室チェロ非常勤講師。



Music Dialogueとは

Music Dialogueは2014年2月に、指揮者・ヴィオリスト大山平一郎を芸術監督として設立し、室内楽という「対話」を通して世界で活躍できる若手演奏家を育てていくことや、室内楽の楽しみを多くの人々に体験していただくことを目的として、様々な活動を展開してまいりました。室内楽を通して、若手演奏家が経験豊富な演奏家と一緒に真の音楽づくりを学ぶことで、アンサンブルの本質を理解できる優れた演奏家になるためのお手伝いをしていきたいと私たちは考えています。



大山 平一郎 (ヴィオラ・芸術監督)

英国のゴールドホール音楽学校を卒業。1972年マールボロ音楽祭にヴィオリストとして参加後数多くの国際音楽祭に招待され、またアイザック・スターン、園田高弘、リン・ハレルなど著名な音楽家とも共演する。1973年カリフォルニア大学助教授に就任。1979年にジュリーニ率いるロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴィオラ奏者に任命され、1987年にプレヴィンから同楽団の副指揮者に任命される。その後サンタフェ室内楽音楽祭芸術監督、九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の音楽顧問・首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞（芸術祭優秀賞）を受賞。現在、TheLoberoTheatreChamberMusicProject（米国サンタ・バーバラ）芸術監督、CHANNELPygmalionDays室内楽シリーズのアーティストック・ディレクター

